

児童と学生、本音で向き合う



児童と学生みんなで記念撮影

通楽(学)合宿、共に成長

浦幌新聞



2015年(平成27年)
8月25日(火曜日)

発行元
うらほろスタイル
推進地域協議会

7月5日～8日にかけての3泊4日、浦幌中央公民館で通楽(学)合宿が行われ、浦幌小学校の児童12名と北海道教育大学の学生10名が参加しました。今年のテーマは「運動」と「読書」ということで、全員でストレッチを行う時間や読書をする時間を設け、活動しました。子どもたちは2つの班に分かれて共同生活を送りながら、普段家族に任せきりな調理をするという経験もしながら学校に通いました。

子どもたちは初め緊張している様子も見られましたが、明るい子どもたちばかりで学生たちともすぐに打ち解け、お互いに協力し活動している様子を見ることができました。

子どもたちはそれぞれ、

一日の活動を振り返る参加児童と学生



普段調理を行っている子もいれば、調理をあまりしたことがなく、包丁を持つと目が離せないような子もいて、それぞれの成長が感じられる機会になったと思います。また、6年生の中には周りをしっかりみて下級生に指示を出すなど、私たち大学生もびっくりする場面もありました。

私はこの3泊4日の通楽(学)合宿で子どもたちの成長を多く見ることができました。最後の閉会式では、子どもたちも大学生も本音を言い、お互いに涙を流して感動を味わいました。その涙はきつと、お互いの成長と同時に、仲間同士で助け合うことや、他人の良いところを見つけた感謝することができた経験に対するものであったのではないかと思います。

将来教師になるという立場から、全体を見通しその場では、何をすることが求められているのか、優先することは何であるのかなど、一つ一つの取り組みの中で真剣に考えることが出来ました。来年は、今までよりも深く企画から携わらせていただきたいと思っています。また、より多くの子どもたちと会えることを楽しみにしています。

(年代恵香)

本気の大人たちから中学生へ

地域活性化案発表会に向けて産業講演会



浦幌町の現状と課題を説明する門馬会長

北海道教育大学釧路校の学生3名が、7月13日（月）に浦幌中学校で行われた産業講演会を参観させていただきました。10月15日（木）に行われる地域活性化案発表会に向けて、うらほろスタイル推進地域協議会会長の門馬さん、地域おこし協力隊の森さん、子どもの想い実現ワークショップ座長の高室さんが、中学生に向けお話をされました。

門馬さんからは、浦幌町の現状や課題について、人口が減少し、学校の数が減

ったこと、買い物ができるところが少ないこと等、お話しがありました。一方、浦幌乳業が生産を上げてい

るという話を聞き、マイナ

ス面だけに目を向けるのではなく、プラスの面に目を向けることで見えてくるものもあるのだと思いました。森さんからは、町づくりに関わって森さんが感じた浦幌町の魅力や可能性についてお話がありました。地域おこし協力隊はどんなことをしているのか、なぜ浦幌町で働こうと思ったのか、また、森さんが感じる浦幌町の好きなのところを話してくださいました。浦幌町出身ではない人から見た浦幌町という視点での話を聞くことは中学生にとってもとても良い機会だったと思います。

高室さんからは、子どもの想い実現ワークショップについてのお話がありまし

た。ワークショップでは、中学生からの地域活性化の提案を実現しようと努力していること、今までに実現した活性化案の例、案を出すためのヒントを話してくださいました。実際に中学生が出した案が実現していることを聞くことで、自分たちの案も実現されるかもしれないという期待をもつて発表会に向かえると思いました。

私も子どもの想い実現ワークショップに何度か参加させていただいたことがあります。子どもたちの想いを何とか実現させようと真剣に取り組む大人たちがいることを知り、本当に素敵だと思いました。地域の活性化に向け真剣に取り組む大人たちの姿を見て成長した子どもたちは、きっと、浦幌町に愛着や誇りをもった大人へと成長していくのだらうと思いました。今年度の地域活性化案発表会が楽しみです。

（竹本朱里）

自然の豊かさを体感

浦幌小・厚内小が
留真で川遊び授業
「浦幌を知る」学習の導入

7月21日(火)、浦幌小学校と厚内小学校1・2年生の生活科の時間に川遊びの授業が行われました。この自然体験学習は、「浦幌を知る」ための学習の導入として位置づけられており、子どもたちが浦幌の自然に触れ、自然の豊かさを肌で感じることを目的に毎年行われています。今年も浦幌留真温泉奥の川で、浦幌町の自然に詳しい森田健吾さん(宝町)と加藤崇彰さん(北町)にお手伝いいただき、児童約65名が、川での水遊びを楽しみました。子どもたちは、川で遊ぶ体験が初めての子が多い様子で、始まる前からとても楽しみにしていました。講師の紹介をして、川での注意事項を確認し、川遊びがスタートしました。

講師の加藤さん(右)に川のこ
とを教えてもらう



天候にも恵まれ、川に入ると水が冷たくて、とっても気持ちよく、子どもたちは大興奮！講師の方と一緒に魚を追いかけて捕まえたり、川の生き物や植物を観察したりと、元氣いっぱい体全体で浦幌の自然を感じることもできたようでした。この学習から、子どもたちが浦幌の自

然をより身近に感じ、普段の遊びの中でも浦幌の自然と触れ合う機会をたくさんつくってもらえたらと思います。(地域おこし協力隊 森彩花)



一生懸命魚を追う



児童・スタッフみんなで記念撮影